

ウズベキスタンをテーマに海外教養講座 中四国支部と連携して開催

JATA中四国支部では、1月19日・20日に開催された「広島空旅！2019」に合わせ、19日にANAクラウンプラザホテル広島にて、「JATA海外教養講座」を開催しました。これは「JATAアウトバウンド促進協議会（JOTC）」と地方支部の連携事業として行われたもので、広島県民や市民に、近場のアジア以外の海外旅行先について知ってもらうことを目的としたものです。



中四国では珍しい旅先、ウズベキスタンを紹介

海外教養講座はJOTCが推進している日本／ウズベキスタン線の往復チャーター便の紹介や、ウズベキスタンについてのPRも含め、元駐ウズベキスタン日本大使の加藤文彦氏（現・全国石油商業組合連合会副会長・専務理事）が「世界遺産 青の都サルカンドとシルクロード」と題した講演を行いました。事前応募で集まった約120名の参加者は、ウズベキスタンという、まだ中四国地域では目新しい destinations について、真剣な表情で聴き入っていました。

この講座とともに、広島県客船誘致・おもてなし委員会が3回目となる「クルーズセミナー」も開催。講師にクルーズライターの上田寿美子氏を招き、「クルーズへの招待状」として船旅の魅力や近年のクルーズ人気、世界の客船についてお話しいただきました。こちらまほほ満席に近い参加者が訪れ、興味深げに耳を傾けていました。

なお「広島空旅！」はJATAが広島空港振興協議会と共同で開催する中四国で最大級の旅の情報発信イベントで、8回目となる今年は両日で約1万0500人の来場者がありました。

JOTC・航空会社インタビュー 第5回

ベトナム航空／ヴァー・グエン・クォイ日本地区総支配人

日本各地から充実の航空網 旅行会社との連携強化を推進

ベトナム航空（VN）は、2018年冬期から日本各地とベトナムを結ぶフライトが週80便に増加。2019年は関空／ホーチミン線も就航25周年を迎えます。今後の取り組みについて、ヴァー・グエン・クォイ日本地区総支配人にお話を聞きました。

—日本市場の需要拡大に向けての重点的な取り組みを教えてください。

クォイ 一つは座席供給です。当社では、昨年秋に関西／ダナン線を新規就航したほか、福岡／ハノイ線をデイリーとし、日本各地とベトナムのホーチミン、ハノイ、ダナンを結ぶ主要3都市へのアクセスがより拡充しました。機材も一部B787-9を導入して大型化し、需要に応じていきたいと思っています。

またVNは長中期にわたり「ベトナム7リゾート」としてダナン、ホイアン、ランコー、ニャチャン、クイニョン、フォーコック、コンダオの総合的な開発とPRを行っており、今後も日本の旅行会社とも協力しながら需要喚起と販売拡大を図っていきます。

—VNならではの強みを教えてください。

クォイ 当社のネットワークです。ベトナム国内はもちろん近隣のインドシナ方面へのフライトが充実しており、利便性の高い接続スケジュールが組んでいます。今後はビヨンド拡大にも注力していきます。

—VNの最新情報を教えてください。

クォイ 2019年は関空／ホーチミン線の就航25周年となることから、キャンペーンを企画しています。また昨年末にハロン湾近くのバンドン国際空港が開港し、VNのホーチミン／バンドン線がデイリー運航となりました。ハロン湾を組み込んだ効率的な周遊旅行の造成をお願いします。

—旅行会社へのメッセージをお願いします。

クォイ 今後も日本の旅行会社との提携を密にし、ツーウェイツーリズムの取り組みも強化したいと思います。両国の交流が深まれば、渡航者の増加と航空網の充実につながります。チャーター便も有効な手段として考えられますので、機材繰り次第とはなりますが、要望があればぜひご一報ください。

ベトナム航空
TEL 03-5157-7401

※インタビューの全文はJOTCのホームページ
(<http://www.jata-net.or.jp/outbound/>)でお読みいただけます

